

1. 基本的な事項

○空港の特徴

- ・八尾空港は大阪府八尾市に立地し、空港周辺は町工場と住宅が混在した市街地が広がっている
- ・滑走路2本を有し、着陸回数10,031回(2019年度)を取り扱っている。

○空港脱炭素化に向けた方針

- ・格納庫、庁舎等において、高効率空調機器への更新、照明、灯火のLED化等の省エネのほか、再生可能エネルギー導入等に取り組む

2. 温室効果ガスの排出量

区分	温室効果ガス排出量[t/年]	
	2013年	現状(2019年)
空港施設	0.5千	0.5千
空港車両	0.08千	0.09千
空港施設・車両 計	0.5千	0.6千
(参考)	航空機	—
	空港アクセス	0.6千

3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	カーボンニュートラル
2050年度目標	カーボンニュートラル (クレジット創出1.0千トﾝ)

4. 主な取組

- ・2030年度: 格納庫、庁舎の照明LED化、空調の高効率化による省エネ、太陽光発電による再生可能エネルギーを導入
- ・2050年度: 太陽光発電設備の拡充を行い、蓄電池の導入を検討



取組の内容及び実施可能性のある箇所

その他の取組

- ・地域連携・レジリエンス : 再生可能エネルギーにより「空港で生産した電力を地域へ供給するスキームの検討」
- ・意識醸成・啓発活動等 : 空港イベント等において環境学習の場を提供することを検討